

パネルディスカッション

パネルディスカッション 1

次世代を見据えた肝移植における教育 - 指導医・修練医がお互いに望むこと -

詳細：

肝移植の持続と更なる発展のためには、次世代を担う肝移植医の育成が必須である。若手外科医にとって肝移植修練が魅力的で効率的なものとなるために、育成・修練システムが如何にあるべきか、指導医・修練医の意見を踏まえ、各施設の取り組みと成果について発表頂きたい。

パネルディスカッション 2

Transplant oncology: 肝癌も含めた切除不能肝悪性腫瘍に対する肝移植の展望

詳細：

切除不能肝悪性腫瘍に対する肝移植 (Transplant Oncology) が新たな概念として注目されている。肝癌に加えて、新たな適応として期待される胆道癌や転移性肝腫瘍について、肝移植医と肝胆膵外科医双方の観点から、従来の外科切除による治療限界を踏まえつつ、本邦での臨床応用の可能性について議論したい。

パネルディスカッション 3

肝移植に関わる肝臓内科医育成に向けての提言

詳細：

肝移植施設の内科診療科において、肝不全診療の一環として肝移植についての理解を深めトレーニングすることは重要な取り組みである。肝臓内科医が主体的に肝移植の術前・術後管理に力を発揮するためには、どのような体制作りが必要なのか議論したい。

パネルディスカッション 4

高齢化社会における肝移植 - 2025年問題を見据え肝移植のあり方を考える -

詳細：

2025年には、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる超高齢化社会を迎える。医療現場にも大きな影響を与えることが予想される中、肝移植の適応・手術・術後管理やFollow-upと考えるべき問題は多い。これまでの高齢者に対する肝移植成績を踏まえつつ、高齢化社会における肝移植のあり方を議論したい。